

【 投 薬 】**２３２ 逆流性食道炎に対するラベプラゾールナトリウム１日４０mgの算定について****《令和６年７月３１日》****○ 取扱い**

内視鏡検査等がレセプトで確認ができない場合の、逆流性食道炎に対するラベプラゾールナトリウム（パリエット錠）１日４０mgの算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

逆流性食道炎に対するラベプラゾールナトリウムの添付文書の用法・用量に関連する使用上の注意に「プロトンポンプ・インヒビターによる治療で効果不十分な患者に対し１回１０mg又は１回２０mgを１日２回、さらに８週間投与する場合は、内視鏡検査で逆流性食道炎が治癒していないことを確認すること。なお、本剤１回２０mgの１日２回投与は、内視鏡検査で重度の粘膜傷害を確認した場合に限る」と示されている。

以上のことから、内視鏡検査等がレセプトで確認ができない場合の、逆流性食道炎に対するラベプラゾールナトリウム（パリエット錠）１日４０mgの算定は、原則として認められないと判断した。